

2023年度

環境活動レポート



取り組み期間 2023年 6月 ～ 2024年 5月

有限会社 環境建設

発行日 2024年 8月 27日

目 次

1	環境経営方針	3
2	組織の概要	4
3	対象範囲(認証・登録・範囲)	
	産業廃棄物収集運搬、処理業許可・建設業許可一覧	5
	中間汚泥処理フロー図	6
	EA21実施体制図	7
	受託した産業廃棄物の処理量	8
4	中期環境目標	9
5	環境活動計画	10
6	環境目標の実績	11
7	環境目標及び環境活動計画の取組結果とその評価、次年度取組	12
8	環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果・違反訴訟等の有・無	13
9	代表者による全体評価と見直しの結果	14

環境経営方針

【環境理念】

有限会社 環境建設は、産業廃棄物収集運搬処理と土木工事の事業活動において環境への取組みを重要課題とし、地球環境との調和と循環型社会の環境保全活動に全社員一丸となり、積極的且つ、継続的に取組み、地域社会に貢献する会社を目指します。

【環境経営方針】

環境負荷低減活動を進めていくために以下の【環境方針】を設定します。

- (1)環境関連法規とその他指導事項を遵守します。
- (2)環境負荷削減に努め、以下の項目を重要課題として取組みます。
 - ①使用エネルギー(電気・燃料)の節減で二酸化炭素排出量を削減します。
 - ②水の使用量の削減
 - ③廃棄物の削減及び リサイクルの推進
 - ④土木工事等での再資源有効化を推進し、再資源化に取組みます。
- (3) 会社の継続的発展の為、事業経営の課題とチャンスをつまえて必要な方針として
下記 内容を定める
 - ①建設汚泥処理を得意分野として、処理施設、重機を保有しており、汚泥処理の
パイオニアとして、収集運搬や処理を通じて、建設汚泥の再資源化に取組みます。
 - ②人材の確保に努め、且つ、従業員の教育と職場の働き方改善に努めます。
- (4) 社会貢献として、地域環境美化活動及び環境保全活動に積極的に取組みます。

制定日 2014(平成26)年 1月 20日

改定日 2019(令和1)年 6月 1日

有限会社 環境建設

代表取締役 手嶋芳光

組 織 の 概 要

(1) 名 称 及 び 代 表 者 名	有限会社 環 境 建 設 代表取締役 手嶋 芳光																																															
(2) 所 在 地	※ 本 社 〒 830-0027 福岡県久留米市長門石四丁目322番地27 電話 0942-65-4372 FAX 0942-65-4382 ※ 浮羽営業所 〒839-1402 福岡県うきは市浮羽町浮羽376-7 電話 0943-77-9011 FAX 0943-77-9012 メールアドレス yoshi-k@gol.com ※産廃中間処理施設 〒 839-1333 福岡県うきは市吉井町富永 1682-1 電話 0943-75-3344 ※改良土リサイクル施設 福岡県うきは市吉井町橘田609-1(吉井施設)																																															
(3) 環 境 管 理 責 任 者 担当者連絡先	代表取締役 手嶋芳光 TEL 0943-77-9011 FAX 0943-77-9012																																															
(4) 事 業 内 容	● 産廃廃棄物収集運搬業 第04000070249号 ● 産廃廃棄物中間処理業 第04020070249号 ● 土壌改良リサイクル業 第052070203号 ● 土木工事業 許可(般-6)第 92508号																																															
(5) 事 業 の 規 模	<table><tr><td></td><td>長門石本社</td><td>浮羽営業所</td><td>産廃中間処理施設</td><td>改良土リサイクル施設</td><td>土木(リサイク ル施設と兼務</td><td>合</td></tr><tr><td>従業員数</td><td>1 人</td><td>2 人</td><td>1 人</td><td>2 人</td><td>1 人</td><td>7</td></tr><tr><td>敷地面積</td><td>368 m²</td><td>100 m²</td><td>9,000 m²</td><td>15,000 m²</td><td>- m²</td><td>24,468</td></tr><tr><td>床面積</td><td>32.97 m²</td><td>81 m²</td><td>- m²</td><td>- m²</td><td>- m²</td><td>113.97</td></tr><tr><td rowspan="2">総売上高</td><td>2021年度</td><td>2022年度</td><td>2023年度</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>168 百万円</td><td>167 百万円</td><td>188 百万円</td><td colspan="3"></td></tr></table> ※従業員数に代表取締役を含めると 8名								長門石本社	浮羽営業所	産廃中間処理施設	改良土リサイクル施設	土木(リサイク ル施設と兼務	合	従業員数	1 人	2 人	1 人	2 人	1 人	7	敷地面積	368 m ²	100 m ²	9,000 m ²	15,000 m ²	- m ²	24,468	床面積	32.97 m ²	81 m ²	- m ²	- m ²	- m ²	113.97	総売上高	2021年度	2022年度	2023年度				168 百万円	167 百万円	188 百万円			
	長門石本社	浮羽営業所	産廃中間処理施設	改良土リサイクル施設	土木(リサイク ル施設と兼務	合																																										
従業員数	1 人	2 人	1 人	2 人	1 人	7																																										
敷地面積	368 m ²	100 m ²	9,000 m ²	15,000 m ²	- m ²	24,468																																										
床面積	32.97 m ²	81 m ²	- m ²	- m ²	- m ²	113.97																																										
総売上高	2021年度	2022年度	2023年度																																													
	168 百万円	167 百万円	188 百万円																																													
(6) 事 業 年 度	6月～ 翌年 5月																																															
(7) 法 人 設 立 年	1977 (昭和52)年 12月																																															
(8) 資 本 金	400万円																																															
(9) 対 象 活 動	産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物中間処理業、土壌改良リサイクル業 土木工事業、管路清掃の施工(全組織・全活動)																																															
(10) 事業計画の概要	産業廃棄物中間処理、収集運搬業・土壌改良リサイクル業及び 土木工事業において事業拡大を計画している。																																															

産業廃棄物収集運搬・処理業許可一覧

※産業廃棄物収集運搬業許可 (積変え保管なし)				許可項目							
都道府県及び政令都市	許可取得日	有効期間	許可番号	廃プラ類	金属くず	ガラスくず	汚泥	紙くず	木くず	動植物性残さ	がれき類
福岡県(優良)	2022年12月22日	2029年12月21日	第04000070249号	●	●	●	●	●	●	●	●
佐賀県(優良)	2021年8月22日	2028年8月21日	第04103070249号				●				
大分県(優良)	2024年2月27日	2031年2月26日	第04407070249号				●				
熊本県(優良)	2021年9月13日	2028年9月7日	第04305070249号				●				
長崎県	2024年5月9日	2029年5月8日	第04200070249号				●				
※産業廃棄物処分業許可 中間処理 (脱水)汚泥											
処理方式…脱水・造粒固化処理 処理能力…152.92m3/日											
処理方式…造粒固化処理(移動式) 処理能力…1,080m3/日											
福岡県(優良)	2023年5月13日	2030年5月12日	第04020070249号				●				
処理方式…造粒固化処理(移動式) 処理能力…1,080m3/日											
久留米市(優良)	2020年12月3日	2027年12月2日	第11220070249				●				
※福岡県リサイクル認定制度											
福岡県	2023年8月31日	2026年8月31日	第052070203号	改良土							

建設業における活動(許可)

建設工事の種類	大臣/知事
1 土木工事業	許可(般-6)第 92508号
2 管工事業	許可(般-6)第 92508号

国土交通所 九州地方整備局

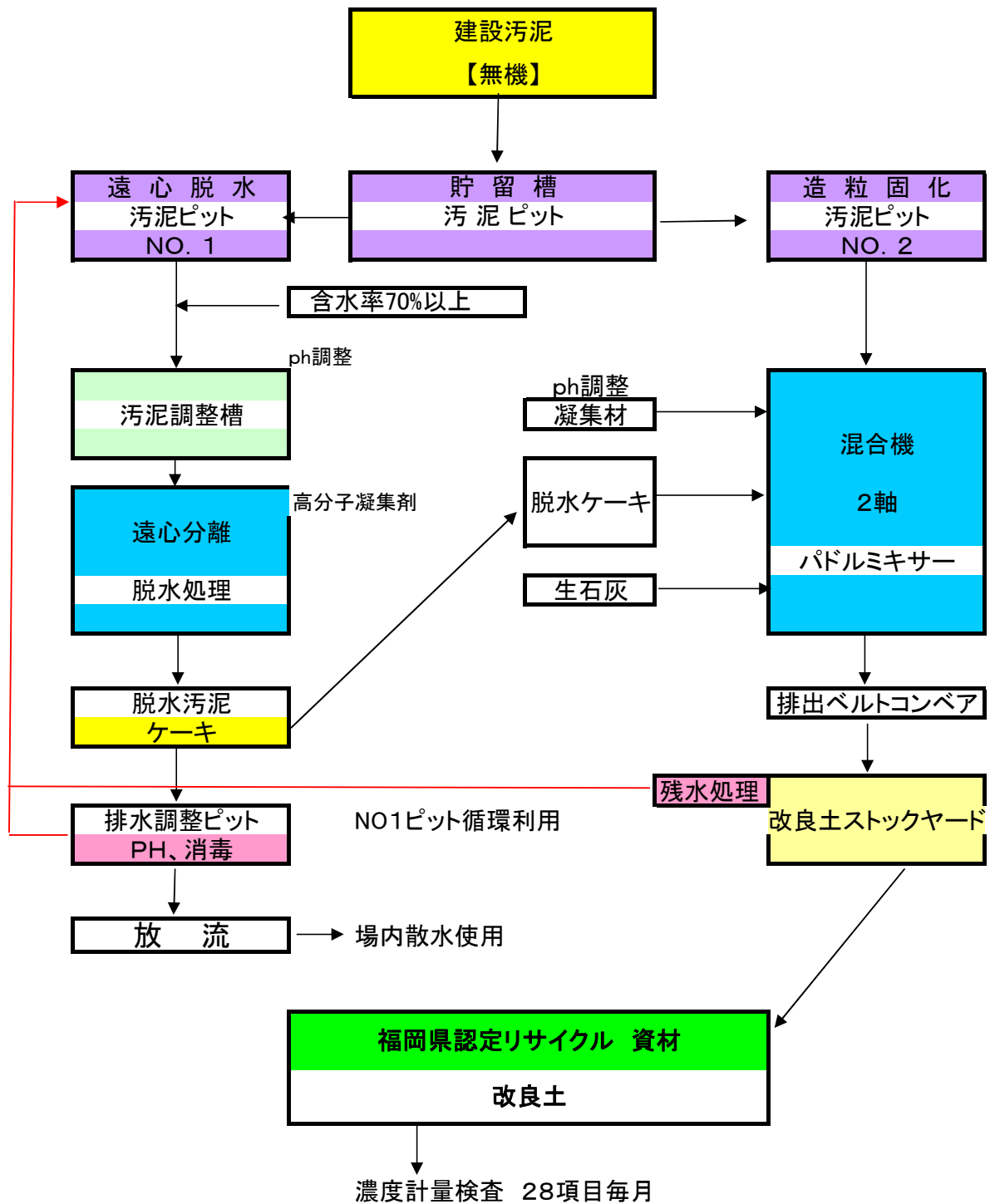
1 ストックヤード運営事業者登録 登録番号 第40000053号

産業廃棄物収集運搬・処理 許可車両・重機・機械

営業・現場移動車両		8台
強力汚泥吸引車両	積載容量 10t車	2台
強力汚泥吸引車両	積載容量 4t車	1台
高圧洗管洗浄車両	積載容量 4t車	1台
ダンブ車両	積載容量 10t車	4台
重機	機械 ユンボショベル 0.7*0.45	2台
重機	機械 ユンボショベル 0.45	1台
重機	機械 タイヤショベル	1台
パドル造粒固化処理機	処理能力 143m3/日	
遠心脱水処理機	処理能力 9.92m3/日	
造粒固化処理(移動式)	処理能力 1,080m3/日	



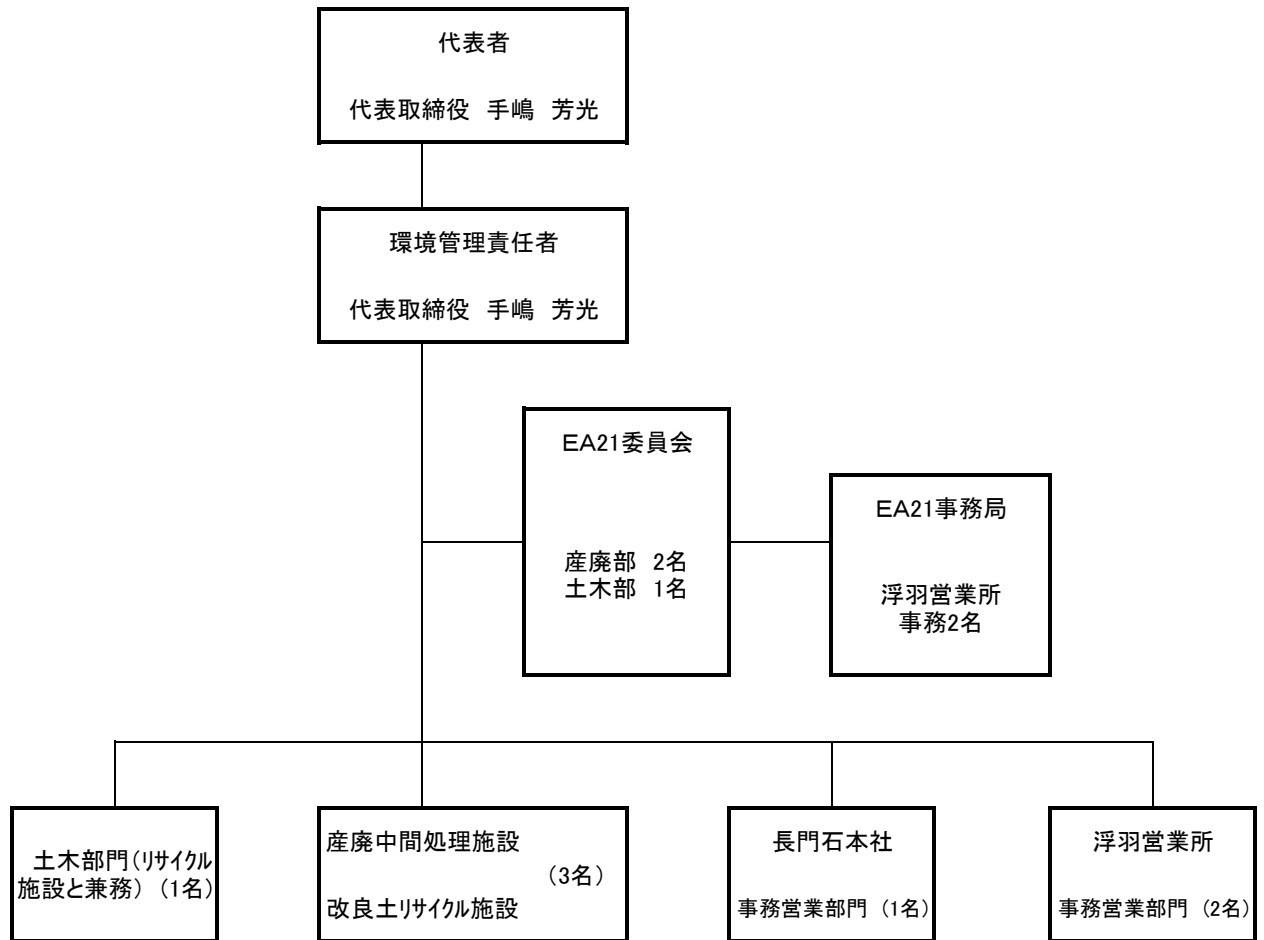
建設汚泥処理フロー



E A 2 1 実施体制

(対象組織)

従業員数(代表者含み)8名



受託した産業廃棄物の処理量

2023年(2023年 6月 ~ 2024年 5月)

処理方法等		廃棄物等種類		処分方法等	処理量m3
収集運搬		汚泥		自社中間処理	5,383.5
		木くず・がれき		破碎・チップ中間処理	0
収集運搬量合計					5,383.5
中間処理		自社搬入汚泥		脱水 パドル固化処理	5,383.5
		他社搬入汚泥		脱水 パドル固化処理	3,576.4
	うち再資源化等	汚 泥		改良土 埋め戻し資材化	8,780.7
		汚 泥		洗い砂 埋め戻し資材化	0
		再資源化等量小計			8,780.7
中間処理合計					8,959.9
最終処分		(がれき類)		(安定型最終処分場)	0
最終処分量合計					0
中間処理 後の産業 廃 棄 物	最終処分	汚泥	(管理型最終処分場(委託))		0
	再資源化 等	汚 泥	(改良土として再生利用(売却)		8,780.7
		再資源化等量小計			8,780.7
中間処理後処分量合計					8,959.9

※中間処理量と再資源化合計の差は、脱水処分による水分量で
場内の清掃及び 紛じん防止の為 散水して使用

※廃棄物処理料金

運搬距離、廃棄物内容、回収形態等により、都度御見積致します
連絡先 担当 手嶋 TEL 0943-77-9011

4・中期環境目標

2022年度以降の環境目標基準年度を直近3力年平均値で算出変更する。

目標・取組事項	単位	該当部門	2019～2021年度 直近3力年平均値	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
1 二酸化炭素排出量の削減		CO2 総合計	323,681	-0.5%	-1%	-1.5%
		実績値・目標値	323,681	322,062	320,444	318,825
※電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の2021年度調整後排出係数0.385kg-CO2/kWhを使用した。						
①電気使用量の削減	CO2	全社	7,016	6,980	6,945	6,910
	kWh	全社	18,225.60	18,132.00	18,041.00	17,950.00
	kWh	長門石本社	2,751.00	2,736.00	2,723.00	2,709.00
	kWh	浮羽営業所・営業	9,461.60	9,414.00	9,366.00	9,319.00
	kWh	産廃・リサイクル	6,013.00	5,982.00	5,952.00	5,922.00
②ガソリン使用量の削減	CO2	全社	10,567	10,514	10,462	10,409
	L	全社	4,555.07	4,532.28	4,509.51	4,486.73
	L	長門石本社	112.79	112.22	111.66	111.09
	L	浮羽営業所・営業	2,707.85	2,694.31	2,680.77	2,667.23
	L	土木現場	478.52	476.12	473.73	471.34
	L	産廃・リサイクル	1,255.91	1,249.63	1,243.35	1,237.07
③軽油使用量の削減	CO2	全社	305,327	303,801	302,274	300,747
	L	全社	118,344.08	117,752.35	117,160.63	116,568.91
	L	土木現場	3,758.28	3,739.48	3,720.69	3,701.90
	L	産廃・リサイクル	114,585.80	114,012.87	113,439.94	112,867.01
④灯油使用量の削減	CO2	全社	771	767	763	759
	L	全社	309.74	308.19	306.64	305.09
2 廃棄物等 排出量の削減						
①一般廃棄物の削減	kg	全社	125.83	125.20	124.57	123.94
	kg	長門石本社	21.6	21.4	21.3	21.2
	kg	浮羽営業所・営業	81.3	80.8	80.4	80
	kg	土木現場	20	19.9	19.8	19.7
	kg	産廃・リサイクル	6	5.9	5.9	5.9
②産業廃棄物の削減 (土木業自社排出分)	m ³	土木現場	6	実績把握	実績把握	実績把握
	—	産廃・リサイクル	分別を行い、再生率向上取組みを行う。			
3. 受託廃棄物適正処理						
①収集運搬量把握	m ³	産廃・リサイクル	年度別の数値を把握する。			
②中間処理量把握	m ³	産廃・リサイクル	年度別の数値を把握する。			
③再生材把握と利用率の向上	—	産廃・リサイクル	処理時の再生利用を上げ処理を考慮する。			
④中間処理量のリサイクル率 98%	98%	産廃・リサイクル	98%	98%	98%	98%
⑤汚泥適正処理	—	産廃・リサイクル	汚泥処理に係る環境負荷の削減と適正処理推進			
4・水資源の削減						
①地下水使用量の削減	m ³	全社	41.40	41.18	40.98	40.77
5・環境保全・地域貢献活動						
①勉強会・教育		全社員	毎月/15日	毎月/15日	毎月/15日	毎月/15日
②会社周辺清掃・美化活動		全社員	週/土曜日	週/土曜日	週/土曜日	週/土曜日
6・人材の確保						
①人材確保への対応	—	代表者	人材確保の為働きかけや関連部門への情報収集活動実施			
②従業員の職場環境改善			福利厚生 の安定化			

5・環境活動計画

1・二酸化炭素排出量の1%削減（担当 責任者）

取組目標		部署	活動項目	日程
1	電気使用量の 1.0 %削減	長門石本社 浮羽営業所	1 エアコン設定温度を決め、実行する	6月～ 翌年5月
			2 使用していないパソコンの電源を切る	
			3 休憩中は主電源を切る	
2	灯油使用量の 1.0 %削減	浮羽営業所	1 温度調整による使用量の削減	
			2 ストープの日常清掃整備の実施	
3	軽油使用量の 1.0 %削減	産廃リサイクル	1 エコドライブの実施	
		土木	2 重機機械の定期点検(軽微の日常点検)	
4	ガソリン使用量の 1.0 %削減	産廃リサイクル	1 エコドライブの実施	
		土木	2 定期点検(軽微の日常点検)の実施	

2・廃棄物排出量の 1.0% 削減 リサイクル率向上（担当 責任者）

取組目標		部署	活動項目	日程
1	一般廃棄物排出量の 1.0%削減	本社・浮羽営業所	1 コピー用紙の裏紙利用	6月～ 翌年5月
		産廃リサイクル 土木	2 分別によるリサイクルの推進	
2	産業廃棄物の削減の 1.0%削減	産廃リサイクル 土木	1 改良土・洗い砂の技術の向上	
			2 中間処理量のリサイクル率 98%	
			3 日常機械の整備・点検の実施	

3・受託廃棄物適正処理（担当者）

取組目標		部署	活動項目	日程
1	収集運搬量の把握	産廃リサイクル	1 マニフェスト・帳簿による集計管理	6月～ 翌年5月
2	中間処理量の把握	産廃リサイクル	1 マニフェスト・帳簿による集計管理	
3	再生材把握及び適正処理	産廃リサイクル	1 中間処理量のリサイクル率98%	

4・水使用量の 1.0 %削減（担当 責任者）

取組目標		部署	活動項目	日程
1	節水活動による 1.0%削減	本社・浮羽営業所	1 節水活動の表示	6月～ 翌年5月
		産廃リサイクル 土木	2 洗浄水の再利用	

5・地域貢献活動の推進（担当 責任者）

取組目標		部署	活動項目	日程
1	環境美化・保全活動	全社	1 会社周辺の清掃・ゴミ回収 月1回第1土曜日	6月～ 翌年5月
			2 勉強会・ 毎月 15日	

6・人材の確保(代表者)

取組目標		部署	活動項目	日程
1	人材の確保・社内環境改善	代表	1 人材の確保に努める 社内環境改善の取組	6月～ 翌年5月

6・環境目標の実績

目標・取組事項	単位	該当部門	2019～2021年度 直近3カ年平均値	2022年度 実績	2023年度 目標	2023年度 実績	2023年度 達成率
1 二酸化炭素排出量の削減		CO2 総合計	323,681	276,799.0 (LPGを含まない 数値)	320,444.0	231,015.0 (LPGを含まない 数値)	139%
		実績値・目標値	323,681				
※電力の二酸化炭素排出係数は九州電力の2021年度調整後排出係数0.385kg-CO2/kWhを使用した。							
①電気使用量の削減	CO2	全社	7,016	6,531	6,945	7,312	95%
	kWh	全社	18,225.60	16,966.00	18,041.00	18,994.00	95%
	kWh	長門石本社	2,751.00	2,731.00	2,723.00	2,938.00	93%
	kWh	浮羽営業所・営業	9,461.60	9,213.00	9,366.00	9,851.00	95%
	kWh	産廃・リサイクル	6,013.00	5,022.00	5,952.00	6,205.00	96%
②ガソリン使用量の削減	CO2	全社	10,567	10,050	10,462	9,357	112%
	L	全社	4,555.07	4,332.25	4,509.51	4,033.19	112%
	L	長門石本社	112.79	0.00	111.66	0.00	浮羽営業所・営業に含んでいる
	L	浮羽営業所・営業	2,707.85	2,639.39	2,680.77	2,601.91	103%
	L	土木現場	478.52	468.59	473.73	385.51	123%
	L	産廃・リサイクル	1,255.91	1,224.27	1,243.35	1,045.77	119%
③軽油使用量の削減	CO2	全社	305,327	259,571	302,274	213,699	141%
	L	全社	118,344.08	100,609.28	117,160.63	82,829.19	141%
	L	土木現場	3,758.28	3,207.11	3,720.69	1,713.52	217%
	L	産廃・リサイクル	114,585.80	97,402.17	113,439.94	81,115.67	140%
④灯油使用量の削減	CO2	全社	771	647	763	647	118%
	L	全社	309.74	260.02	306.64	260.00	118%
2 廃棄物等 排出量の削減							
①一般廃棄物の削減	kg	全社	128.9	121.30	127.40	124.00	103%
	kg	長門石本社	21.6	20.3	21.3	21.0	101%
	kg	浮羽営業所・営業	81.3	76.7	80.4	78.0	103%
	kg	土木現場	20	18.9	19.8	19.5	102%
	kg	産廃・リサイクル	6	5.4	5.9	5.5	107%
②産業廃棄物の削減 (土木業自社排出分)	m ³	土木現場	6	6	実績把握	6	
	—	産廃・リサイクル	分別を行い、再生率向上取組を行う。				
3. 受託廃棄物適正処理							
①収集運搬量把握	m ³	産廃・リサイクル	年度別の数値を把握する。				
②中間処理量把握	m ³	産廃・リサイクル	年度別の数値を把握する。				
③再生材把握と利用率の向上	—	産廃・リサイクル	処理時の再生利用を上げ処理を考慮する。				
④中間処理量のリサイクル率 98%	98%	産廃・リサイクル	98%	98%	98%	98%	
⑤汚泥適正処理	—	産廃・リサイクル	汚泥処理に係る環境負荷の削減と適正処理推進				
4・水資源の削減							
①地下水使用量の削減	m ³	全社	41.40	39.00	40.98	40.00	102%
5・環境保全・地域貢献活動							
①勉強会・教育		全社員	毎月/15日	毎月/15日	毎月/15日	毎月/15日	実施済
②会社周辺清掃・美化活動		全社員	週/土曜日	週/土曜日	週/土曜日	週/土曜日	実施済
6・人材の確保							
①人材確保への対応	—	代表者	人材確保の働きかけや関連部門への情報収集活動実施				
②従業員の職場環境改善			福利厚生の安定化				

※2022年度実績は電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の2021年度調整後排出係数0.385kg-CO2/kWhを用いた。

※達成率は、目標値/実績値 で算出した。

※2022(令和4)年度 化学物質の使用はありません

7・環境目標及び環境活動計画の取組結果とその評価、次年度取組

環境目標の次年度目標は、環境目標の2024年度に記載しています。

I・取組結果とその評価

1・二酸化炭素排出量の削減

- 二酸化炭素排出量の削減は、一年間目標達成に向け取り組み
電気の使用量及び燃料の使用量削減に取り組んだ
次年度も引き続き、重機等のエコ運転に取り組む
- 電気使用量の削減は、こまめな消灯を心がけ不使用時の主電源削除等に取り組んだ
酷暑による夏場の電気使用量が増加傾向にある。継続して環境活動計画内容に取り組む
- 灯油使用量の削減は、浮羽事務所のみを使用
冬場のエアコンとの併用による使用本年度は目標達成できた
継続して環境活動計画内容に取り組む
- ガソリン使用量の削減は、エコドライブの徹底を心がけた
継続して環境活動計画内容に取り組む
- 重機等未使用時のエンジnstopp等に徹底に取り組む

2・廃棄物排出量の削減

- コピーの裏紙を積極的に使用、両面コピーを活用
- 改良土の技術向上
日常の機械整備により燃料削減に努めた
中間処理量のリサイクル率はほぼ目標達成した
継続して排出量削減に取り組む

4・水使用量の削減

- 節水表示を実施した。
継続して環境活動計画内容に取り組む

5・地域貢献活動の推進

- 毎朝、事業所周辺の清掃を行い実施できた
継続して環境活動計画内容に取り組む

6・人材の確保

- ハローワーク求人掲載を活用 人材の確保への取組実施
継続して環境活動計画内容に取り組む

II・次年度取組内容

取組み内容を鑑み必要な場合は目標内容の変更を含め検討する
上記の環境活動計画に取り組む、今後も向上を目指す
今後の環境活動目標は、このままの変更追加無しとする。

8・環境関連法等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規	要求事項	遵守状況
事業系・(一般廃棄物の処理)	委託業者選定基準・委託基準の遵守	適
廃棄物処理法 (産業廃棄物の処理)	保管基準の厳守・委託基準の厳守	適
	産業廃棄物管理票の交付・産業廃棄物の運搬受託管理票の交付	適
	産業廃棄物管理票の写しの保存期間・管理票交付者の報告書	適
	運搬受託者、処分受託者の義務	適
	収集運搬業・処分業の許可	適
	収集運搬・処分等の基準の遵守	適
	帳簿の記載・帳簿の保存	適
	設置許可・定期検査	適
	維持管理の技術上の基準	適
	記録の閲覧	適
	変更の許可等	適
	技術管理者の設置とその資格	適
	投棄禁止・焼却禁止	適
	報告の徴収	適
水質汚濁防止法	特定施設(該当なし)	—
	施設排水基準	適
	浄化槽排水基準	適
浄化槽法	維持管理	適
	清掃	適
騒音規制法	特定建設作業の事前届出	適
	規制基準の遵守	適
振動規制法	特定建設作業の事前届出	適
	規制基準の遵守	適
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	特定建設資材・建設業等を営む者の責務	適
	対象建設工事の請負契約に係る書面の記載事項	適
	再資源化等実施義務・発注者への報告等	適
	下請負人に対する元請業者の指導	適
	建設業の働き方改革の促進	適
資源の有効な利用の促進に関する法律(ラージリサイクル法)	事業者の責務	適
	特定再利用事業者の再生資源の利用促進	適
	指定副産物に係る再生資源の利用の促進	適
特定特殊自動車排出ガスの規制の関する法律(オフロード法)	事業者及び使用者の責務・使用の制限	適
	建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制を図る為の指針	適
使用済自動車の再資源等に関する法律(自動車リサイクル法)	自動車の所有者の責務	適
	再資源化預託金等の預託義務	適
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	事業者及び消費者の責務	適
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(小型家電リサイクル法)	事業者の責務	適

当事業所に摘要される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反は過去3年間ありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

9・代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果

代表者 手嶋 芳光	環境管理責任者 手嶋 芳光
--------------	------------------

環境取組の実施状況まとめ(環境管理責任者記録日 : 2024 年 8 月 27 日

	環境目標	環境目標の達成状況	環境活動計画の実施状況	コメント
環境目標の達成状況 環境活動計画の実施状況	二酸化炭素排出量削減	○	○	社内全体の目標は達成できている
	廃棄物排出量削減	○	○	環境目標の達成はできている
	水使用量削減	○	○	環境目標の達成はできている
	事業活動における環境配慮	○	○	環境配慮を行い事業活動している
	課題とチャンス対応	○		環境経営方針及び目標に設定している
環境関連法規等の遵守状況のチェック結果	環境法令取りまとめ等の指導を受け適用とされる法令の取りまとめを実施			
外部からの苦情等の受付結果	外部からのクレーム受付はなかった。			
前回の代表者の指示事項とその取組結果	・環境経営システムの簡素化を図り無駄な経費等の削減をめざす。 目標達成に向け今後も継続して取り組む			
その他(前回審査指摘事項改善結果、そのほか改善提案)	・是正処置の明確化、必要性がないか早めの対応する			

評価及び変更の必要性和指示8代表者 記録日 : 2024 年 8 月 27 日

【変更の必要性がある場合は有に●をつけて、その指示事項を記載する】

環境経営システムが有効に機能しているか	当社の環境経営に活かせるレベル迄継続的に改善していく。
環境への取組は適切に実施されているか	不十分な点は改善を図り全員参加で環境経営に繋げたい。
環境方針 変更に必要性	環境方針変更の必要性は現状ないと判断している。
環境目標・環境活動計画 変更の必要性	環境目標規準年度を実態に合わせ見直しを実施するが本年度見直しは特にないと判断
その他の環境経営システム要素 変更の必要性 (○ 有 ● 無)	取組の変更の必要性は現状ないと判断している。
○ 取組の対象組織・活動の明確化 (○ 有 ● 無)	
○ 環境負荷の把握・評価 (○ 有 ● 無)	
○ 環境関連法規等の取りまとめ (○ 有 ● 無)	
○ 実施体制の構築 (○ 有 ● 無)	
○ 教育・訓練の実施 (○ 有 ● 無)	
○ 環境コミュニケーションの実施 (○ 有 ● 無)	
○ 実施及運用 (○ 有 ● 無)	
○ 緊急事態への準備及び対応 (○ 有 ● 無)	
○ 環境文書及び記録の作成・管理 (○ 有 ● 無)	
○ 取組状況の確認及び評価 (○ 有 ● 無)	
課題とチャンス対応 (○ 有 ● 無)	